

フローマイクロ波メソリアクター

高再現性と省エネを実現した、フロー方式のマイクロ波化学合成装置です。
1台で中規模（キログラム/day）の生産用途に対応！

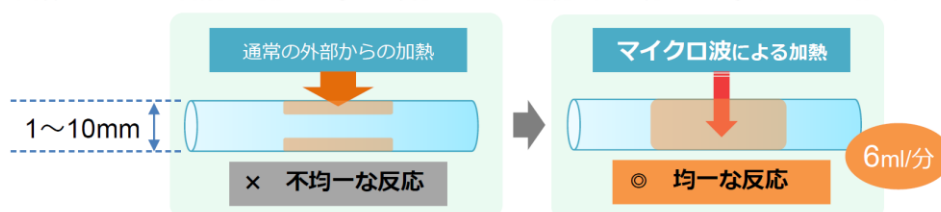
用途

機能性化学品やEL素材（発光錯体）のフロー合成に

特長

●フロー合成で大量合成が可能

マイクロ波による加熱で、流路径10mmでも均一な反応が得られ、大容量のフロー合成が可能です。6ml/分の量での連続生産が行えます。（シリンジポンプ使用時）

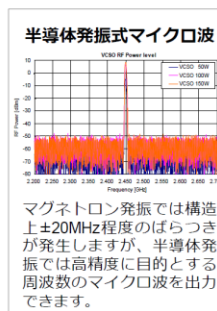


●安定かつ再現性の高い化学合成を実現

精密制御が可能な半導体発振式マイクロ波を使用。周波数自動追尾機能や温度測定のフィードバック制御機能が可能。

●省エネ生産を実現

半導体発振方式のマイクロ波を効率的に使用することで、省エネ生産が可能です。

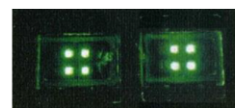
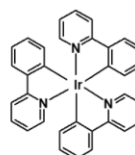


比較例

■有機金属発光錯体の合成

マイクロ波フロー合成により、通常加熱による方法と比較して、合成時間の大幅な短縮、省エネ化が可能です。

Ir(ppy)_3



	加熱還流方式（通常加熱）	マイクロ波フロー合成方式
加熱方法	オイルバス加熱(140℃)	6mL/min(120℃) 30Wでの連続生産
所要時間	17.5 時間	15 分
トータル電力	2.79 Kwh	7.5 wh

※有機反応につきましてはご相談に応じます